

災害対策委員会 年間活動報告

作成者：玉木
高野
山田
佐竹
勝本

1.平成30年度の活動内容

- 救命救急講習会(年2回)
- 第1回救急搬送勉強会
- 第2回救急搬送勉強会

救命救急講習会について

消防署の方を講師として、救命救急の方法や大切さについての講義を実際に行いながら学ぶ。

一次救命処置の大切さと手順

- ・一次救命処置の内容変更点等について
- ・一次救命処置の手順
- ・AED(自動式対外式除細動器)の使用方法
- ・気道異物除去法について

応急手当について

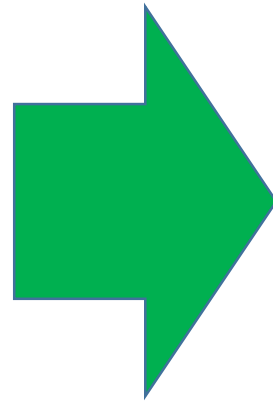
- ・熱中症
- ・熱傷(やけど)
- ・骨折

等々

一次救命処置の変更点について

JRCガイドライン2010

- ・胸骨圧迫の際胸を押し深さ
5cm以上
- ・1分間に押しリズム
100回以上



JRCガイドライン2015

- ・胸骨圧迫の際胸を押し深さ
5cm以上 **6cm以内**
- ・1分間に押しリズム
100回 **~120回**

2015で強調された項目

- ・押したらしっかりと胸を元の位置に戻す
- ・胸骨圧迫の中断が10秒を超えない
- ・呼吸の確認に迷ったらすぐに胸骨圧迫をする

JRC=日本蘇生協議会

救命救急講習会の実際の様子



←心肺蘇生法を実際に行っている様子
お手本映像が前方に流れている

AEDを使用した
一次救命処置の様子→



第1回救急搬送勉強会について

日時：平成30年9月13日（木）18:00～19:00 場所：昴

＜勉強会内容＞

- ・実際の利用者を想定

昴2階よりリクライニング車いすに乗った状態で非常階段より職員二人で避難を行う。

昴2階よりリクライニング車いすに乗った状態で施設内階段より職員二人で避難を行う。

職員間で意見・感想等を話し合い、振り返りを行う。

第1回救急搬送勉強会の実際の様子



←屋内の階段を使った一時避難の様子

屋外の階段を使った一時避難の様子→



実施後の感想・意見について(一部)

<良かった点>

- ・搬送と簡単に言うが、実際に人を運ぶのがいかに大変か分かった。
- ・実際に運ぶ際、利用者が痛がっても運ばなければならない理由を目の当たりにできた

<改善点>

- ・バスタオルや毛布では搬送時職員に負担がかかる
→担架の使用や用意の検討
- ・2班に分かれて行った後、方法について検討する時間を取れなかった
→事前にタイムスケジュールを組み、時間を確保する

第2回救急搬送勉強会について

日時 平成30年2月7日(木)13:45~14:50 場所SSとやの

<勉強会内容>

・施設で行われた、避難訓練の様子を見て頂く

避難の際、使用する車に、移乗・乗車を参加者が利用者役で行う

実際に避難場所に市より指定されている「いくとぴあ」まで避難を行う

避難訓練の様子や実際に参加しての感想をアンケートで回収する

第2回救急搬送勉強会の実際の様子

避難先に持っていく道具
予めある程度まとめてある
ため運搬が容易



←ご利用者様避難の様子

実際に「いくとぴあ」まで
避難する際の乗車の様子



実施後の感想・意見について(一部)

<良かった点>

- ・緊急セットのスーツケース、薬、カルテ、毛布等をあらかじめ正面玄関に準備していた
- ・移動の順番で、軽度の方から先に誘導し重度の方を後にするのは、職員が追加されるタイミングと合い、目配りも行いやすい

<改善点>

- ・職員同士の声掛けがして情報共有できると良かった
→トランシーバーを活用する
- ・利用者の避難誘導に集中してしまい、待機している利用者の見守りが手薄になった
→避難者のチェックをする職員が見守りをしっかりとする

引用元

災害対策委員会 行事報告書

AEDガイド 【公表】JRC蘇生ガイドライン2015。変更点など6つのポイントまとめ

<https://inoti-aed.com/jrc-guideline2015/>